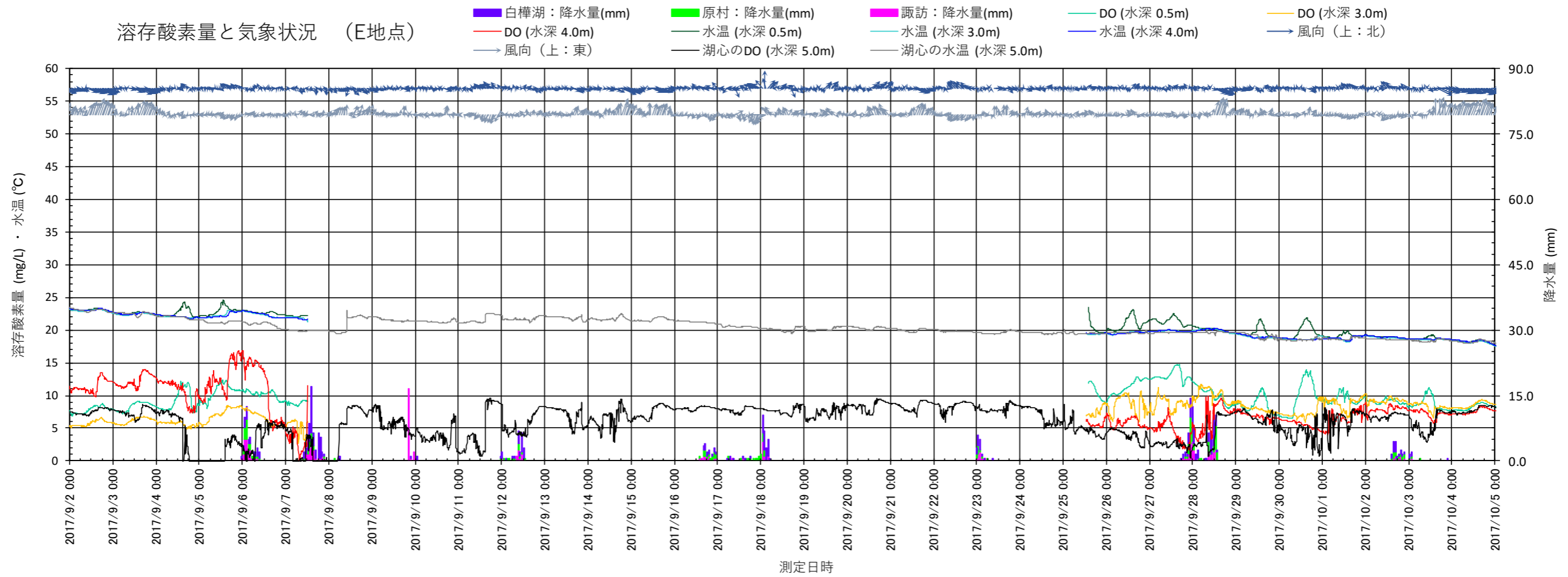
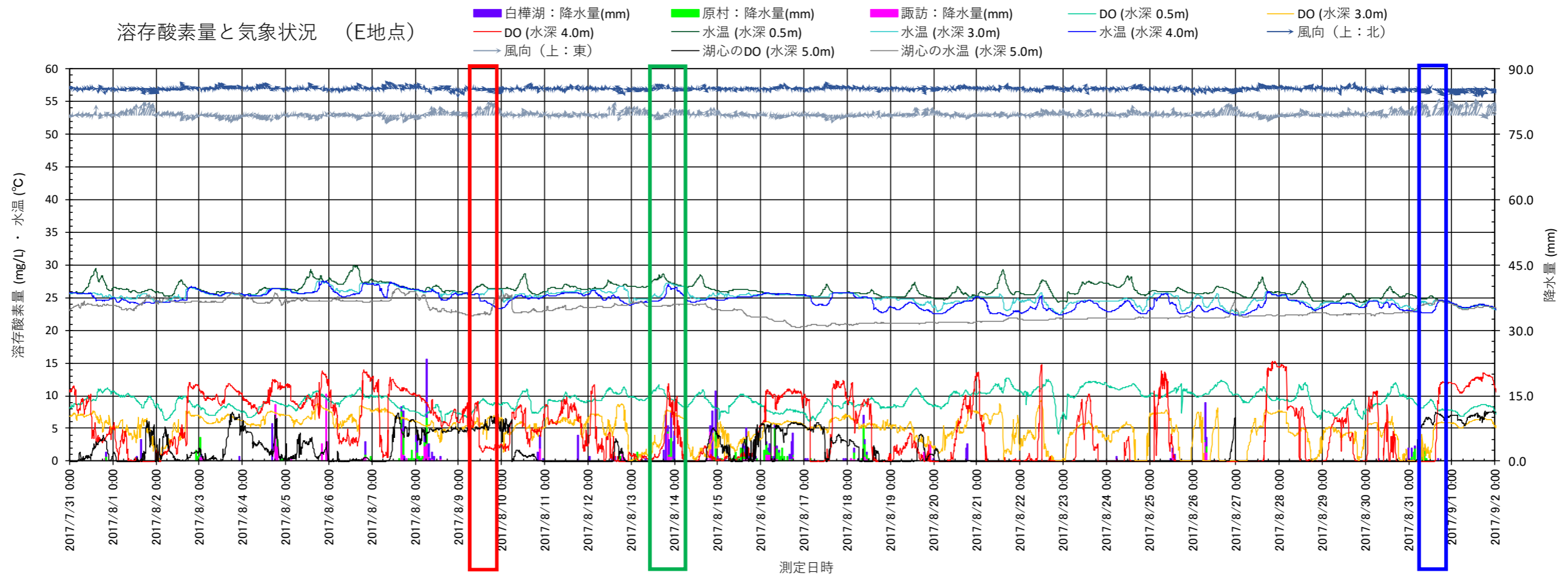


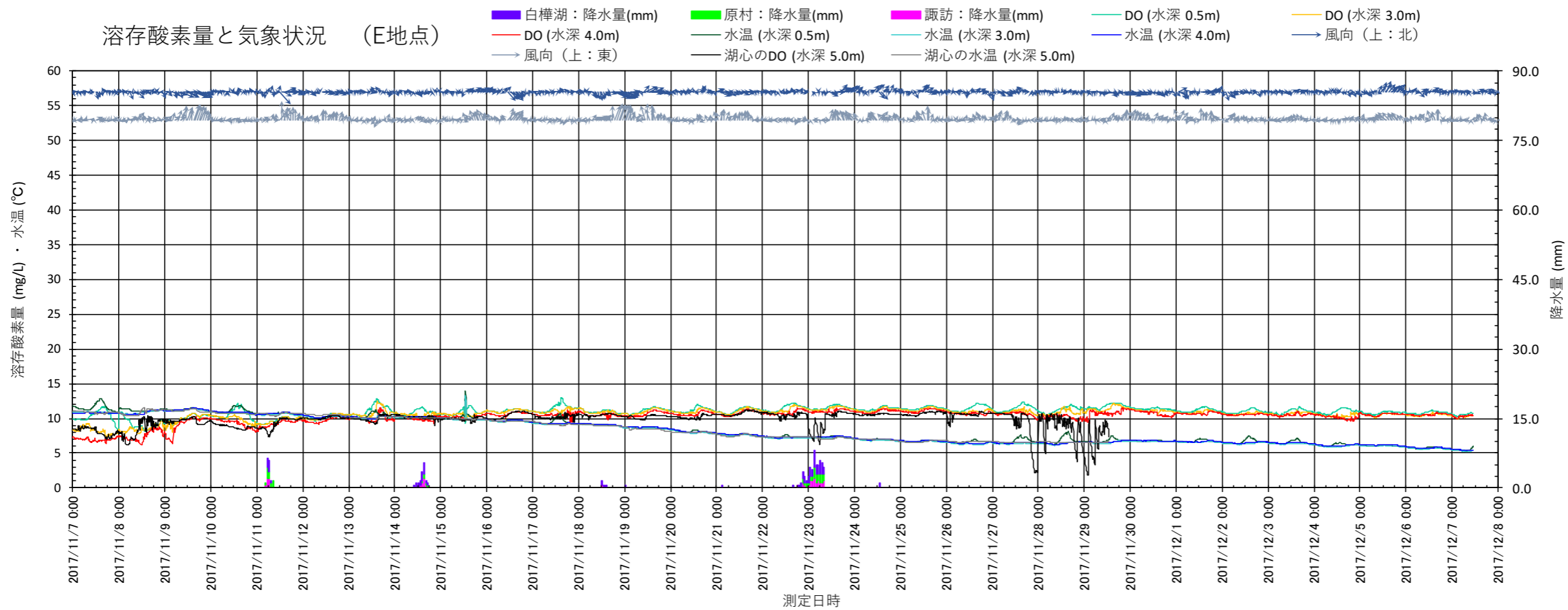
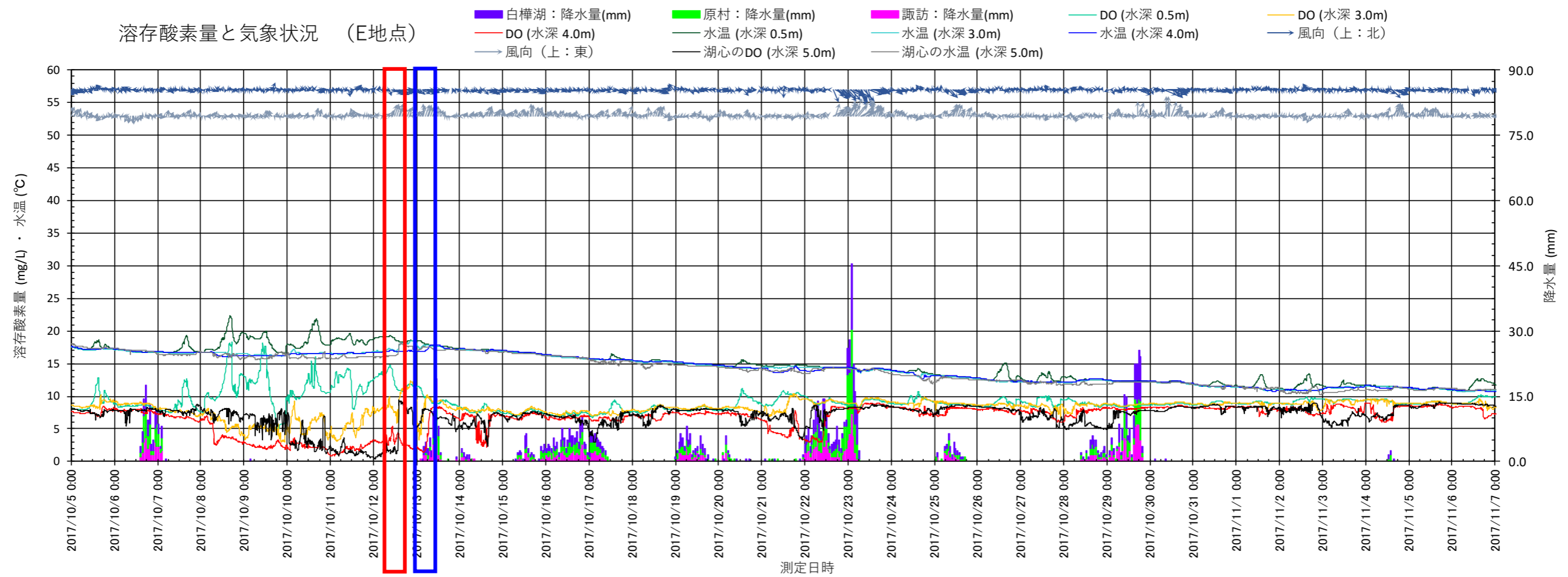
注) 底層溶存酸素量及び水温の測定間隔は10分、降水量及び風の観測間隔は1時間である。  
資料：長野県環境保全研究所提供資料より作成

図 3.1.47 (1) 2017 (平成 29) 年度における溶存酸素量と気象状況 (E 地点)



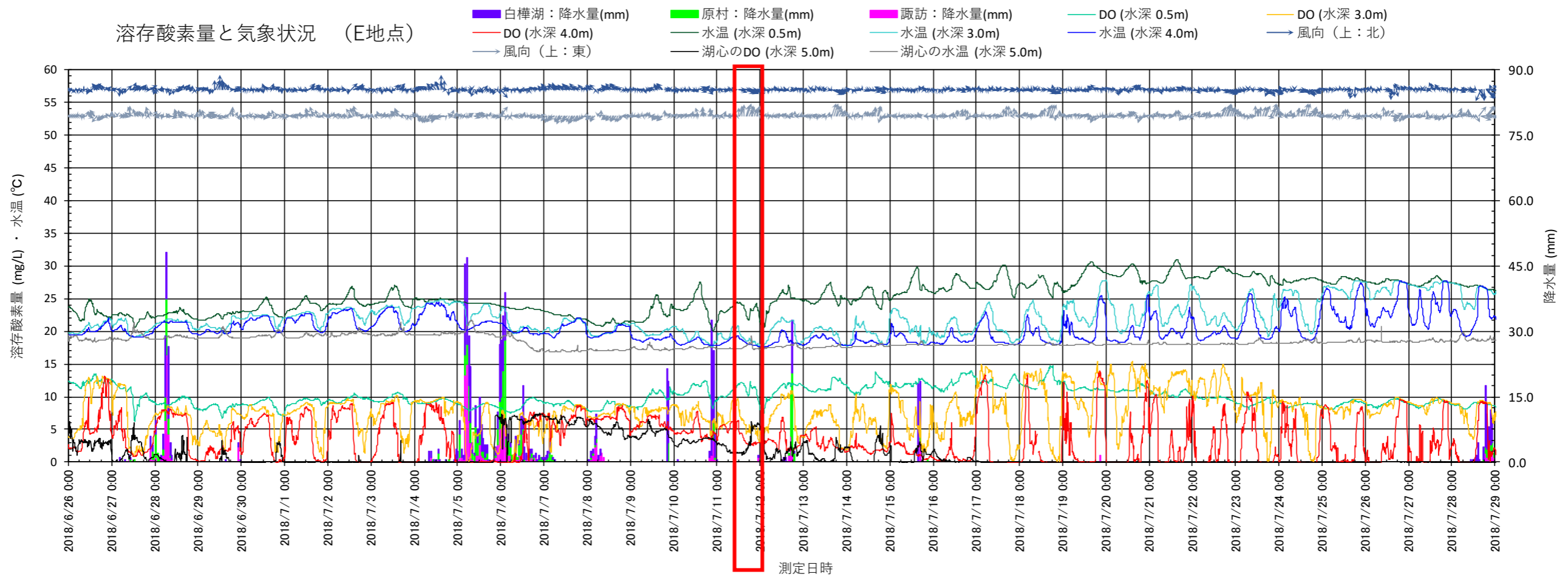
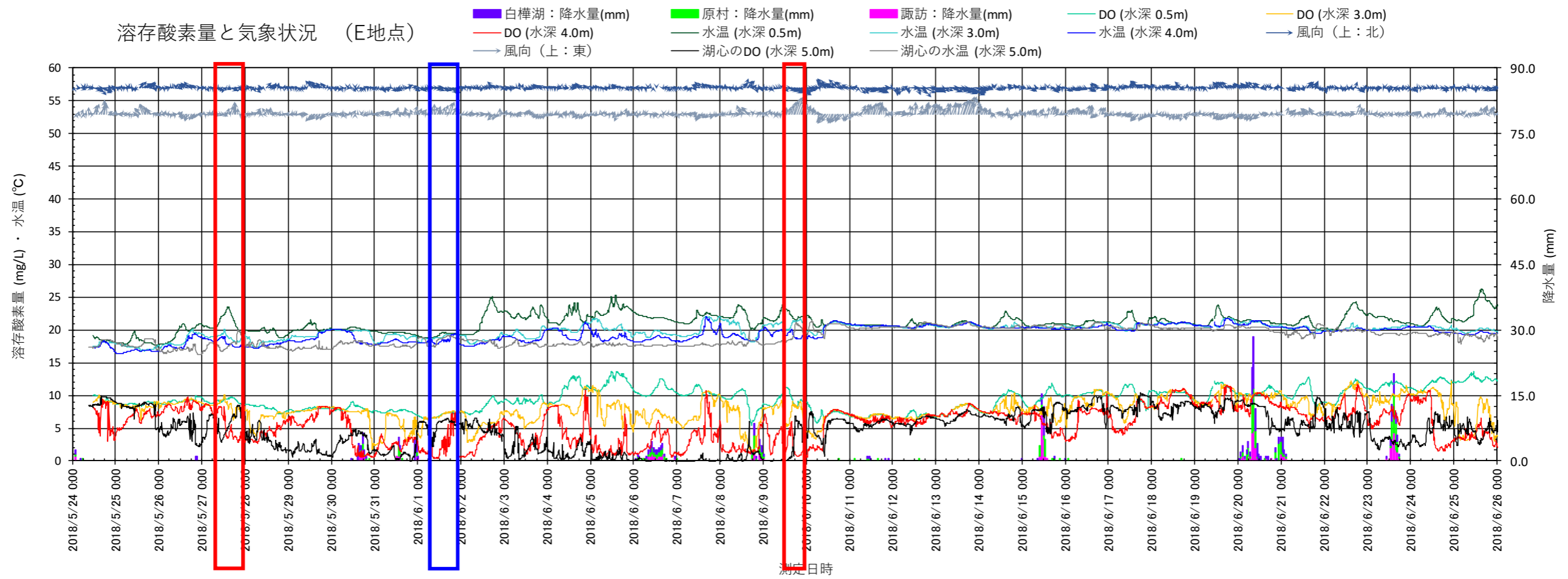
注) 底層溶存酸素量及び水温の測定間隔は10分、降水量及び風の観測間隔は1時間である。  
 資料：長野県環境保全研究所提供資料より作成

図 3.1.47 (2) 2017 (平成 29) 年度における溶存酸素量と気象状況 (E 地点)



注) 底層溶存酸素量及び水温の測定間隔は10分、降水量及び風の観測間隔は1時間である。  
 資料：長野県環境保全研究所提供資料より作成

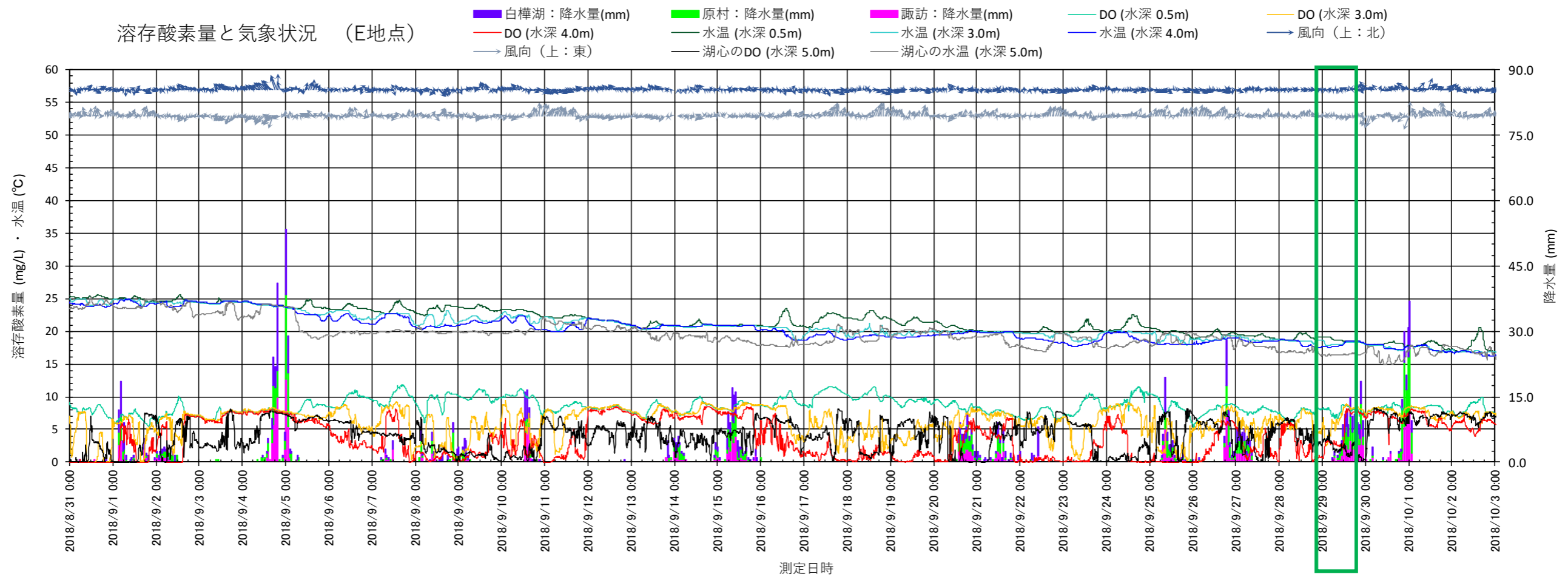
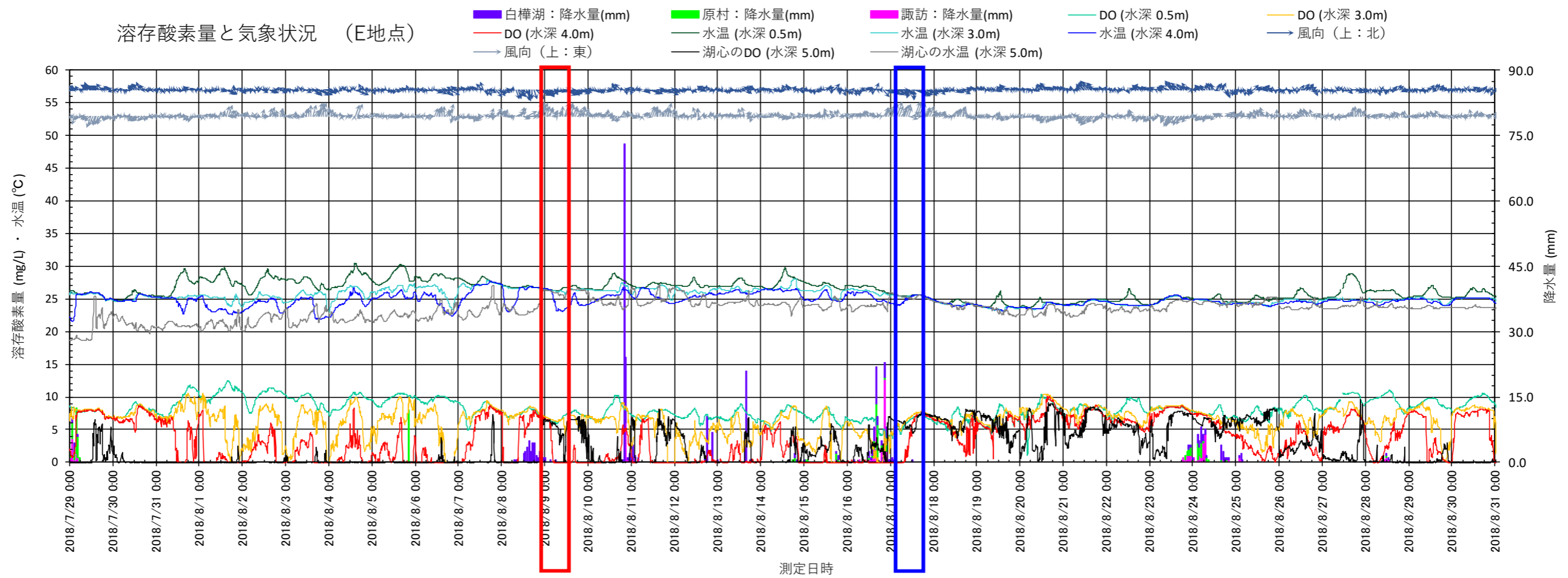
図 3.1.47 (3) 2017 (平成 29) 年度における溶存酸素量と気象状況 (E 地点)



注) 底層溶存酸素量及び水温の測定間隔は10分、降水量及び風の観測間隔は1時間である。  
 資料：長野県環境保全研究所提供資料より作成

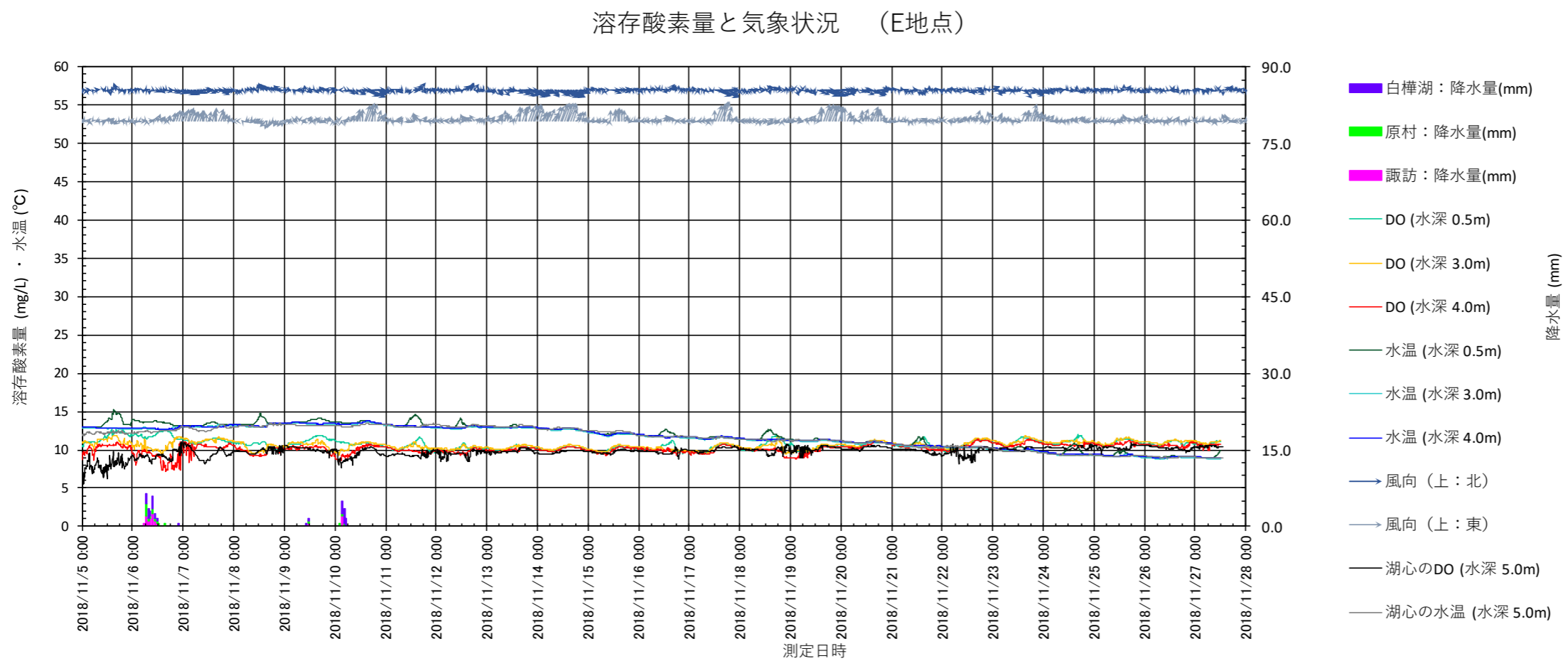
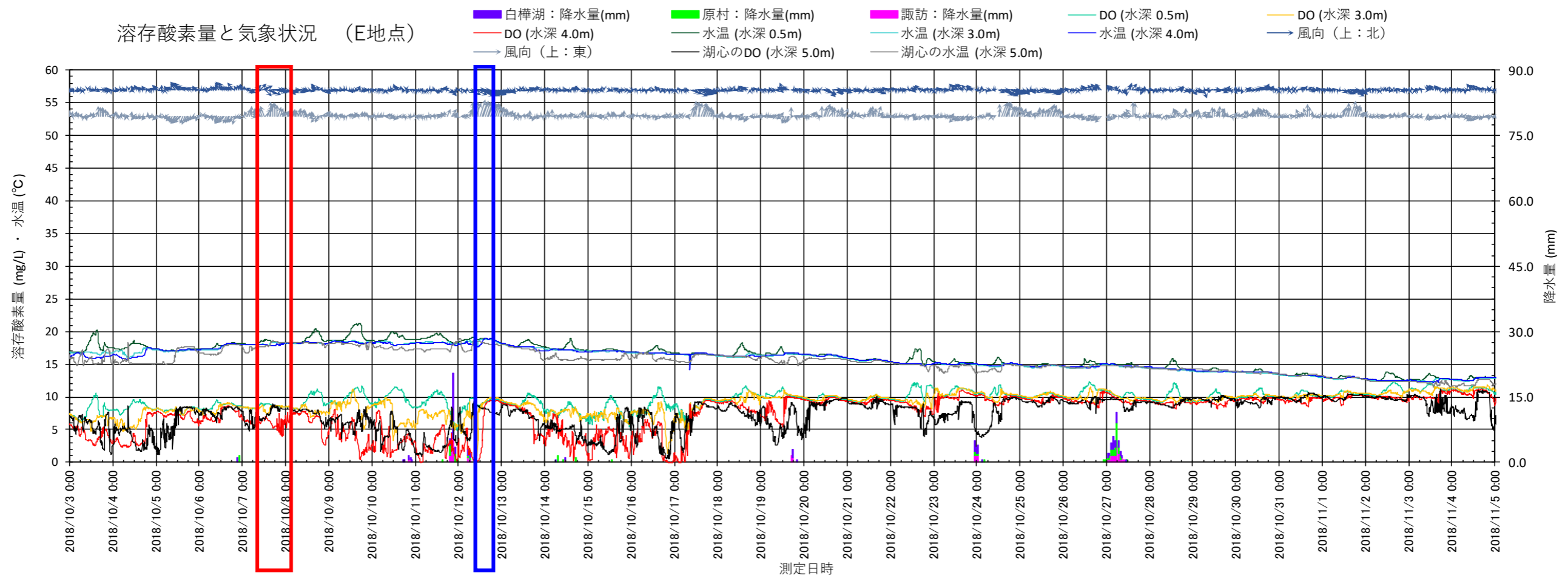
図 3.1.48 (1) 2018 (平成 30) 年度における溶存酸素量と気象状況 (E 地点)





注) 底層溶存酸素量及び水温の測定間隔は10分、降水量及び風の観測間隔は1時間である。  
 資料：長野県環境保全研究所提供資料より作成

図 3.1.48 (2) 2018 (平成 30) 年度における溶存酸素量と気象状況 (E 地点)



注) 底層溶存酸素量及び水温の測定間隔は10分、降水量及び風の観測間隔は1時間である。  
 資料：長野県環境保全研究所提供資料より作成

図 3.1.48 (3) 2018 (平成 30) 年度における溶存酸素量と気象状況 (E 地点)